

# 日本子ども家庭福祉学会通信

## 第37号

2018年3月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.37

### 第19回 日本子ども家庭福祉学会 全国大会のお知らせ

テーマ：最善の利益と自己決定

大会長 新保 幸男（神奈川県立保健福祉大学）

「最善の利益」という言葉は、私たちが、子ども家庭福祉学の研究や実践を進める時、しばしばその前で立ち止まり、自分がすべきことを再考するキーワードです。このキーワードの前で、私たちは、自分たちの研究を深め、自分たちの専門性を磨きます。

その「最善の利益」という言葉が、ようやく平成28年6月3日に公布された児童福祉法改正で、児童福祉法第2条に明記されるようになりました。そのようになるために努力を重ねてこられた本学会の先達たちの努力の積み重ねの意義をあらためて感じています。

第19回全国大会では、この「最善の利益」というキーワードについて、その意味、認識方法、判断プロセスについて再検討すると共に、子ども自身や保護者が行う「自己決定」を支援する専門職の役割や留意点について「最善の利益」との関連で再考することを通して、子ども家庭福祉学の研究や実践を深めることを目的としています。

児童福祉法第3条の2で示されている優先順位を検討するにあたって、「最善の利益」はそれを判断するための大切な根拠となります。当該児童が、どこで暮らすことが「最善の利益」と考えられるのか。どうい

う支援を受ける必要があるのか。課題を、どう認識し、どう判断すべきか。私たちは、それらについて、今回の第19回全国大会で、一度立ち止まり、再考する必要があると感じています。

大会初日は「記念講演」「記念鼎談」「基調報告」「シンポジウム」を設定し、それぞれ、「学問としての子ども家庭福祉学について再考する」「子どもの最善の利益についての理解を深める」「最善の利益と自己決定との関係について考える」「最善の利益と自己決定について幅広い視点から検討する」というテーマを持って進めていきたいと思えます。

大会2日目は、会員の皆さまによる「自由研究発表」を予定しています。子ども家庭福祉学分野で進められてきた研究をお互いに報告し、真摯な意見交換を行い、研究を深めつつ、研究者・実践者の交流を図っていく大切な機会として、多くのみなさまの積極的なご報告とご参加をお待ちいたします。

この大切なテーマを検討する場所として、神奈川県横須賀市にある神奈川県立保健福祉大学で第19回全国大会を開催するための準備を進めています。

思考を続けるとお腹が空きます。本学がある横須賀は、三崎まぐろが水揚げされる三崎漁港、葉山牛を生産する葉山に近いと共に、横須賀カレーの発祥の地でもあります。懇親会や翌日の昼食では、それらを提供できるように準備を進めています。

考え、食べ、親しく懇談する。そんな時間を過ごしながら、子ども家庭福祉学の研究と実践を深める機会としたい。そう願っています。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

1. 日時：2018年6月2日（土）～3日（日）
2. 会場：神奈川県立保健福祉大学（神奈川県横須賀

市平成町 1-10-1)

### 3. 【大会スケジュール (予定)】

第1日目 6月2日(土)

12:30～ 受付

13:00～13:30 総会

13:40～14:25 記念講演「子ども家庭福祉と学問」(公開)  
山崎美貴子(神奈川県立保健福祉大学)

14:30～15:15 記念鼎談「子どもの最善の利益」(公開)  
網野武博(東京家政大学)

柏女霊峰(淑徳大学)

新保幸男(神奈川県立保健福祉大学)

15:15～15:35 基調報告「最善の利益と自己決定」(公開)  
新保幸男(前掲)

15:45～17:45 シンポジウム「最善の利益と自己決定」(公開)

相澤仁(大分大学):

児童自立支援施設の視点から

網野武博(前掲): 保育所の視点から

柏女霊峰(前掲):

児童相談所の視点から

都留和光(二葉乳児院):

乳児院の視点から

林浩康(日本女子大学):

養子縁組・里親の視点から

堀尾美幸(心泉学園):

児童養護施設の視点から

山崎美貴子(前掲):

母子生活支援施設の視点から

新保幸男(前掲): コーディネーター

18:00～19:30 懇親会

第2日目 6月3日(日)

9:20～12:00 分科会「自由研究報告」

12:00～13:00 休憩

13:00～15:40 分科会「自由研究報告」

### 4. 【参加費】

	大会参加費		懇親会費	
	事前受付 (5/8まで)	当日 受付	事前受付 (5/8まで)	当日 受付
会員	4,000円	5,000円	5,000円	6,000円
非会員	5,000円	6,000円	5,000円	6,000円
公開プログラム のみ	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円

### 5. 【参加申込方法】

ゆうちょ銀行

00140-7-487461

日本子ども家庭福祉学会第19回全国大会実行委員会

郵便局に置かれている「払込取扱票」を用いて上記口座へ参加費等を払込いただくことで事前参加申込が完了します。日本子ども家庭福祉学会の本年3月時点での会員の皆様には4月上旬までに「払込取扱票」(口座番号等記載、払込手数料受取人払)が送付される予定ですので、それを用いることも出来ます。その際「払込取扱票」の通信欄に①「会員番号」②懇親会への参加・不参加についてご記入のうえお申し込みください。事前受付期間は2018年5月8日(火)までです。

### 6. 【自由研究報告申込方法】

自由研究報告を行うためには、筆頭者だけではなく共同報告者全員も「会員」である必要があります。希望される方は、詳細案内ページ <http://ai777.org/> をご確認の上、4月1日(日)～4月15日(日)の間に、大会事務局 [kodomokatei@kuhs.ac.jp](mailto:kodomokatei@kuhs.ac.jp) へ、所定の様式にそった報告要旨の完成原稿をメールに添付してお申し込みください。その際、メールの表題に【2018年報告要旨(筆頭者の氏名)】と標記してください。研究報告のお申し込みをお待ちいたします。

〈大会事務局〉

大会長 新保 幸男

事務局長 高橋 恭子

大会詳細案内ページ: <http://ai777.org/>

E-mail: [kodomokatei@kuhs.ac.jp](mailto:kodomokatei@kuhs.ac.jp)

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科

## 特別企画の実施

特別企画として、「民間団体活動推進調査研究事業」がスタートしました。2017年度総会時にはご提示していなかった案件であったことから、8月9日にメールニュース及びウェブサイトを通してパブリックコメントの募集を行いました。第2回理事会で募集要領等について詳細な検討を加えたのち、11月30日から当該事業に関する企画の募集を開始しました。募集期限の1月末日までに4件の応募があり、理事会で厳正な審査を行った結果、以下の2件を採択することとしました（助成総額585,000円）。

- ①「24時間緊急一時保育事業の実践と利用者の生活困難に関する研究」（宇野耕司会員）
- ②「当事者を主体としたパーマネンシーパクト日本版の開発」（永野咲会員）

採択者には、2018年度に事業を実施いただき、2019年度開催の全国大会で報告をいただくことになっております。

なお、およそ600万円ある繰越金を学会員に還元し、さらなる学会活性化を導くものとして、当該特別企画は当面実施することとなっております。学会ウェブサイトの新着情報（2017年11月30日付）で募集要領が閲覧できますので、関心のある学会員の方はぜひご覧いただき、今後の応募についてご検討ください。

## 2017年度日本子ども家庭福祉学会 第2回理事会 議事録

場 所：首都大学東京

日 時：2017年10月21日（土）10:00～11:30

出席者（敬称略）：林浩康，山野則子，小林理，木村容子，湯澤直美，澁谷昌史，川松亮，山本真実

欠席者（敬称略）：網野武博，増田まゆみ，倉石哲也，相澤仁

### 1. 審議事項

(1) 国際文献社への事務業務委託の再検討

➡事務局長・次長が2年ごとに変更するたびに、支払い業務の申し送り等が発生し、煩雑であることから、体制が変更しても継続して管理できるように、国際文献社への会計業務委託を追加することについて検討した。理事会としては、反対はなかったため、詳細を事務局で再度詰めて、会長一任で決定することにした。

(2) 理事の業務担当について

➡福祉系学会連合総会への出席は副会長の業務となった。

(3) 特別企画について

- ・パブリックコメントの受付を9月末まで実施したが、コメントは1件のみであった。このコメントを公募要領に加筆することになった。
- ・公募要領の内容について、修正意見が述べられ、変更することになった。
- ・今後のスケジュールについての確認がなされた。

2017年11月 学会誌の郵送時に特別企画事業公募についてのチラシを同封、同時にMLによる周知を学会員に行う。

2018年1月末日 応募締切

2月 採択決定

3月 学会通信にて採択事業の発表

2018年4月～2019年3月 事業の実施

2019年6月 報告書作成 全国大会において発表

- ・採択事業は2件程度（上限30万円）

(4) 全国大会開催校への支援について

- ・支援金50万円は、実質的に準備のために支払いが発生する前年度2月に振り込むことが確認された。
- ・開催校が学会参加受付業務等を国際文献社に委託することなどは、支援金の範囲（+大会参加費）の中で行うことが出来るため、開催校の判断で行うよう伝えることになった。

(5) 入会審査

- ・7件が承認された。

- ・年間の入会審査の回数は年4回(2回理事会時, 2回メールによる持ち回り)

## 2. 報告事項

### (1) 第19回全国大会の開催について

開催日程 2018年6月2日(土), 3日(日)

開催校 神奈川県立保健福祉大学

大会テーマ 「最善の利益と自己決定」

- ・基調講演, シンポジウム等の計画案が出された。研究発表の表彰を行う新規の企画については, 継続審議となった。

### (2) 編集委員会報告(小林理事より報告)

- ・「子ども家庭福祉学」第17号の編集。2017年11月刊行予定。現時点では, 新規投稿9本のうち採用4本, 査読中1本, 不採用4本となっている。特集記事として, 2016年10月に実施した特別企画「新たな子ども家庭福祉のあり方を考える—児童福祉法改正を巡る考え方と方向性—」の記録を掲載する。
- ・第17号を郵送する際, 次回特別企画の研究公募についての案内チラシを同封することが決定された。
- ・投稿検討中の会員より「投稿の会員資格は, 筆頭著者だけでなく, 共著者も会員である必要があるのか」との問い合わせがあったが, 投稿規定にはその旨の記載がなく, 周知が曖昧な状況であるといえるため, 投稿規定の見直しが必要であるかが諮られたが, すでに「投稿票」には共著者も学会員である必要があることが明記されており, 問題ないとされた。

### (3) 次回理事会 2018年6月2日(土) 神奈川県立保健福祉大学 10時～

## 入退会者

2017年11月1日～2018年2月28日までの新入会員  
なし

2017年11月1日～2018年2月28日までの退会者  
なし

## 〈編集後記〉

- ・学会費(2017年度)のお振り込みがお済みでない方は, 速やかにお振り込みをお願いいたします。
- ・ご所属先の異動等がございましたら, 登録情報の更新を行ってください。
- ・調査研究費を助成する特別企画が始動しました。限られた時間の中でご応募いただいた会員の方に, 心から感謝申し上げます。
- ・特別企画は会員の皆様からお預かりしている会費を原資とする事業です。お気づきのことがございましたら, どうぞご連絡ください。
- ・本通信の内容に関しましても, 引き続きご意見・ご感想をお待ち申し上げます。(S)



## 日本子ども家庭福祉学会通信 第37号

発行日 2018年3月28日  
 発行人 林 浩康  
 編集人 澁谷 昌史  
 発行 日本子ども家庭福祉学会事務局  
 〒162-0801  
 東京都新宿区山吹町358-5  
 アカデミーセンター (株) 国際文献社  
 Tel: 03-5937-5716 Fax: 03-3368-2822  
 e-mail jscfw-post@bunken.co.jp